

アイドリングストップバッテリー専用充電器 NEW MODEL:P12100S-ISS この充電方式じゃないとダメなんだ！！

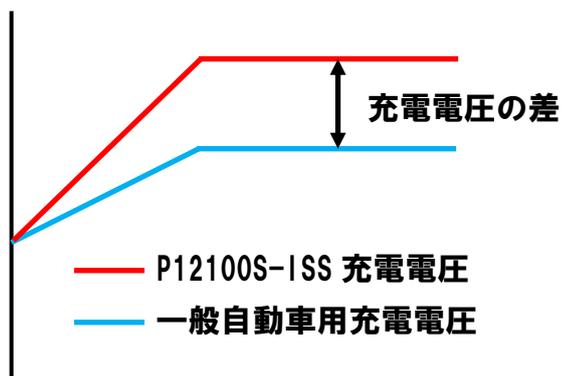


■ アイドリングストップ機能が動作しなくなると・・・

アイドリングストップしない＝充電不足の可能性が非常に高いことが考えられます。充電不足のままバッテリーを放置しておくと、バッテリー内部では液比重の高い部分・低い部分に分離される「成層化現象」が発生します。この状態を放置しておくと、液比重の高い部分は極板の劣化が進行し、低い部分はサルフェーションが発生し、バッテリーの能力低下や早期劣化につながる恐れがあります。

【ポイント】そのため、充電による液比重の均一化を行い、完全充電する必要があります。車両の定期点検時、アイドリングストップバッテリー販売前には、アイドリングストップバッテリー専用充電器で必ず充電することをおすすめします！！

■ なぜ専用充電器ではないとダメなの？？



【ポイント】アイドリングストップバッテリーの特性上、“一般自動車用充電器の充電電圧より高電圧を与えないと液比重が均一化されません。”

アイドリングストップバッテリーを一般自動車用充電器で充電した場合、液比重が変化しない＝充電不足→成層化現象→早期バッテリーの劣化につながります。

【充電器を使用する前に】

P12100S-ISS



充電する前にメーター切替スイッチを「バッテリー電圧」側にし、バッテリーの電圧値を確認しましょう。緑ゾーンであれば充電不要、黄ゾーンであれば充電が必要になります。正確なバッテリー電圧・性能確認のためには、バッテリーテスターを使用しましょう。“アルプス計器製自動車用 CCA テスターSP1250BT”をおすすめします。

【充電器の使用方法】

*充電する前には、充電切替スイッチで充電モードの選択を必ず行ってください。



- ① 必ず電源スイッチが OFF になっていることを確認
- ② +端子に赤クリップ、-端子に黒クリップを接続
- ③ 電源プラグを AC100V に接続
- ④ *充電切替スイッチを選択
- ⑤ 電源スイッチを ON=赤 LED が点灯
- ⑥ 満充電に近づくと緑 LED が点滅
- ⑦ 赤 LED が消灯したら充電終了

車載バッテリー充電	アイドリングストップ車両にバッテリーが搭載されている状態での充電
高電圧充電	バッテリー単体の充電(車両からバッテリーを取り外した状態での充電)

注意：車両にバッテリーが搭載されている状態で、高電圧充電を行うと電装機器を破損させる原因になります。

【主な仕様】

品名	適合電池 (5HR)	入力	出力	寸法 (mm)			質量 (kg)	コード寸法 (m)	
				幅	奥行	高さ		入力側	出力側
P12100S-ISS	アイドリングストップ用 M-42~T-110 (32Ah~64Ah)	AC100V 50-60Hz	DC12V 10A	223	157	121	4.2	約 2.5	約 3.0

～アイドリングストップ関連製品～

【SP1250BT】アイドリングストップ



バッテリー対応
CCA バッテリーテスター

【P1212BU】

メモリーバックアップ電源



AUTO CRAFT アルプス計器

本社：長野県長野市信州新町竹房 285

TEL:026-262-2111 FAX:026-262-2627

東京営業所：東京都豊島区西池袋 5-8-10

樺島ビル 4F

TEL:03-3982-3321 FAX:03-3982-4420

URL: <http://www.alpskeiki.co.jp>

Email: info@alpskeiki.co.jp